

川崎市内における PM2.5/光化学オキシダントと小児気管支喘息有病率の経年的変化の関連性

出典	日本職業・環境アレルギー学会雑誌 2019;26:71-79 (http://search.jamas.or.jp/link/ui/2020090760/)
著者	高柳良太 他
調査地域	神奈川県川崎市、高津区
調査時期	2009 年～2017 年各年 10 月 1 日～10 月 31 日
調査対象	地域住民
依頼数	川崎市：72-85 施設、高津区：46-51 施設
有効回答数 または回収率	川崎市：77.6-97.5%、高津区：71.7-97.9%
診断方法	医師の診断：医師会所属の医療機関のうち気管支喘息患者の取り扱いのある医療機関に気管支喘息で受診した患者
有症率	川崎市 2.37-4.68%、高津区 2.88-3.97%
調査概要	川崎市における過去 9 年間の大気汚染物質濃度の経年推移と小児の気管支喘息の有病率の経年推移との関係性について調査した論文。